

平成二十四年一月十日より

展 観 目 録

「 新 春 を 寿 ぐ 道 具 」

干支に因んだ道具を中心に

表千家北山会館

京都市北区上賀茂桜井町61番地
075・724・8000

<http://www.kitayamakaikan.jp>

◎ 展示室

掛物

庭山耕園筆 寿老人ノ絵

皆具

而妙斎好 青交趾 若松皆具

掛物

竹内栖鳳筆 慈姑ノ絵くわい

棚

而妙斎好 相生蒔絵 袋棚

掛物

金島桂華筆 槌工サン 「槌の和訓八土也 万物之よ里生す」

茶杓

北野半萬燈 梅ノ木 而妙斎銘 余香

白南天 即中斎銘 雪晴

茶碗

池田遙邨筆 日出鶴ノ絵

芳春

善五郎造

掛物

而妙斎筆一行 瑞龍千丈 (昭和六十三年)

茶碗

赤 勅題 新年雪 (明治四十三年)

而妙斎好 金砂子 松ノ絵 銘 千とせ

而妙斎筆 雲ノ絵 賛「昇龍」

蓬莱

善五郎造

掛物

惺斎筆 槌玉工サン「福寿」 (昭和三年)

小兵衛作

善五郎造

即全造

弘入作

善五郎造

即全造

菓子器

松喰鶴 朱糸目食籠

宗哲作

即中齋好 朱捻梅食籠 老松自筆

一閑作

掛物

即中齋筆 春入千林處々花

水次

而妙齋好 南鐔 捻梅藥罐

淨益作

釜

而妙齋好 撫肩 独楽鑲付

淨心作

掛物

而妙齋筆 龍工サン「在天」

(昭和六十三年)

茶器

而妙齋好 内朱金砂子 唐松蒔絵 大棗

一閑作

而妙齋好 松鶴龜ノ絵 雪吹

宗哲作

即中齋好 芽張柳 大棗

一閑作

香合

交趾写 荒磯 即全造 / 織部写 即全造

九谷焼 開扇 / 不二見焼 ヲランダ写 惺齋筆 梅ノ絵

覚々齋好 ブリブリ 利齋作 / 焼貫 龜 慶入作

狸 惺入作 / 今戸焼 都鳥 白井半七作 / 青釉 龍丸 惺入作

蓋置

而妙齋好 竹 二彩

吉左衛門作

而妙齋好 ヒラキ梅

清右衛門作

而妙齋好 若松

即全造

服紗

千支染 (昭和五十一年 / 昭和六十三年 / 平成十二年)

友湖作

◎ 呈茶席

掛物

而妙齋筆 寒梅月団々

陶板

而妙齋繪賛 宝船エサン「福来」

◎ 立礼席

掛物

即中齋筆一行 青松多寿色

花入

而妙齋好 松耳七角

善五郎造

釜

伝来写 羽子板 惺齋筆 且坐喫茶ノ文字

浄長作

水指

萬曆写 龍波ノ絵 塗蓋 宗哲作 (昭和五十一年)

即全造

茶器

而妙齋好 蓬萊蒔絵 大棗

宗哲作

茶碗

赤 龍ノ絵

覚入作

替

老松二鶴ノ絵

善五郎造

茶杓

即中齋作 歌銘 谷深ミ春のひかりノおそけれハ

雪につつめる鶯の声

北野三十本残竹ヲ以テ

建水

伝来写 エフコ形

浄益作

蓋置

即中齋好 溢梅蒔絵 煤竹輪

正玄・宗哲合作